

の前原勘次郎氏の採品である。基本型のものに比して葉はより丸くその基脚は非常に細く、肋も短くて中葉で葉のはぼ中部或はや下部に終つているので基本種と区別すべきものであろう。前原氏は観察の結果と意見とを添えて標品を筆者に送られたので、ここに共同命名とする。種としては日本新産で、基本種には**コアカスジゴケ**と命名すべきものと考えその丸葉品の意味で和名をつけた。

24. **アカミノハリガネゴケ**⁴⁾ 越後国妙高山蒸温泉上方のコンクリート製土砂崩壊防止用堰堤下の湿土上からの筆者の採品である。前記の如く桜井博士の報告は誤りであるから、ここに改めて日本新産とする。しかし同博士の用いられた和名は本種に適当なものと思われるのでそのままここに採用する。本種は始め欧州から報告せられ、後に香港⁵⁾、ハワイ⁶⁾等からも知られるにいたつたが、その産地の報告は少くその分布は現在のところ典型的な隔離分布と言うべきものであろう。この報告はアジア地域からは二度目のものと思われる。

25. **ヌマハリガネゴケ** 本種の稔性のものは我が国では殆んどみられない。白馬岳鍾温泉附近からの高木氏の採品は完全な子囊をつけている。桜井博士は同標品を *B. Blindii* Br. et Schimp. とされたが、それは明らかに誤りで本種は同種からは遙かにかけ離れたものである。本種については既に飯柴氏⁷⁾の報告があるが、確実な報告はないように思われるので日本新産とする。

終りにのぞみ貴重な標品をいただいた高木典雄・矢野孝二・鈴木兵二及び斎藤実の諸氏に深甚の謝意を表する。
(昭和29年10月)

正 誤 Errata of this Journ. 29 (7 & 9).

頁 (Page)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Read)	頁 (Page)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Read)
210	22	Monoicum	Paroica	265	Fig. 1	7. capsules ×65	7. capsules ×6.5
212	17	Aerodictyon	Areodictyon		"	exothelial	exothelial
215	32	列	4 列	266	Fig. 3	Fruiting plant ×3	Fruiting plant ×1.5
	33	アミハリゴケ	アミハリガネ ゴケ		11		New to Japan.
263	4	Monoicum	Paroica	267	6	spit	spite
	14	maginalibus	marginalibus	22~23		Bull. Herb. Boiss. 2 sér 8: 128 (1907)	Bull. Soc. bot. Genève 2 sér. 1-3: 128 (1909)
	15	basalibus	basilaribus				
264	1	2,521	2,921				
	3	monoicous	paroicous				
	10	viditur	videtur				

4) 植雑 16: 162 (1953).

5) Bartram, E. B., Manual of Hawaiian Mosses 119 (1933).

6) 日本産藓類総説: 98. 昭和5年